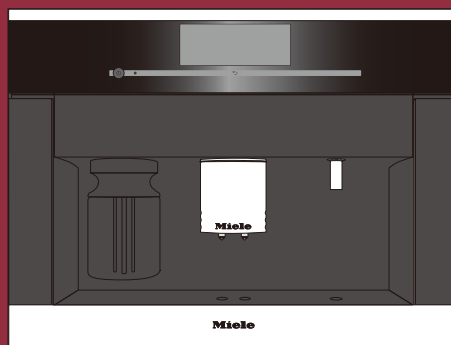


# 設置・施工手順書

## エスプレッソマシン CVA6800



CVA 6800  
エスプレッソマシン

- この設置・施工手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 設置・施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

# 安全上のご注意

本手順書では、次のマークの箇所で人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。



「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



実行しなければ  
ならない内容です。

設置・施工は、「本手順書」に従って確実に行う。  
(設置に不備があると、漏電・火災の恐れ)

電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う。

アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う。  
(接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の恐れ)

アースを確実に取り付ける。  
(漏電すると、感電の恐れ)

水滴がかかる場所には設置しないでください。

湿気の少ない、じゅうぶん換気のできる所に設置してください。

地下室、土間、コンクリート床、醸造・貯蔵所などには設置しないでください。

電源プラグの刃、刃の取り付け面に付着したほこりを拭き取ってからコンセントの根元までしっかりと差し込んでください。



してはいけない  
内容です。

絶対に分解・修理・改造は行わない。  
(火災・感電・けがの恐れ)

※決して行ってはならない分解・接続の一例  
(・トッププレートや操作部ユニットの分解)  
(・電源コードの直付けなど)

水、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しない。(火災・故障の原因)

トッププレートに衝撃を加えない。  
上に乗ったり、物を落とさない。  
(万一ひびが入ったり割れた場合、過熱・異常動作・感電の恐れ)

電源コードや電源プラグを排気口や温度の高い所に近づけない。  
(火災・感電の恐れ)

# 1 電源工事

## 専用回路の設置

●火災予防条例に準じて使用場所を選定してください。

●電源 :100V 50/60Hz(アース付コンセント)

※ 单独でお使いください。

※ アース工事を必ず行ってください。

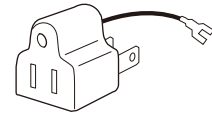
※ コンセントは機器の背面には設けないでください。



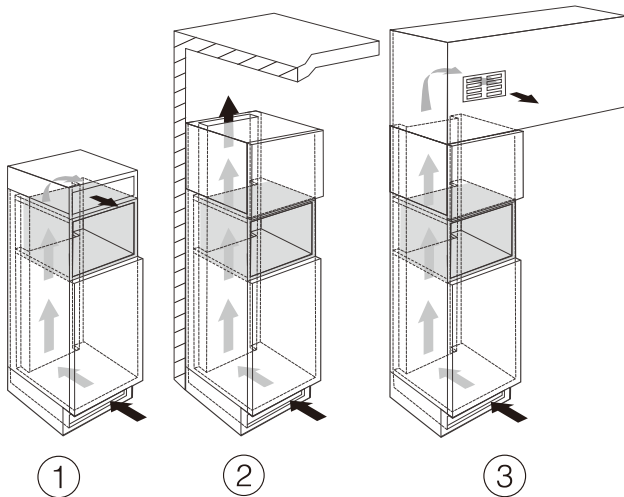
●同梱のアース付プラグをご使用の上、アースを確実に取り付けてください。故障や漏電の時に感電するおそれがあります。

### 同梱部材

アース付プラグ(100V)



## 本体放熱の空気の流れ



いずれの場合のキャビネット底部から給気して、本体背面を通る排気経路を確保して下さい。

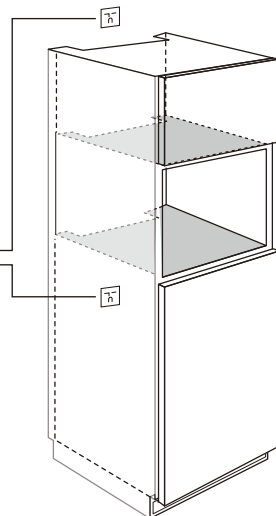
※機器内の湿気を減らし、結露を防ぐ為に排気経路を設けて下さい。

- ① 本体上部にギャラリーを設け、キャビネット全部に抜ける空気の流れる場合
- ② 本体上部からキャビネット背面を通過して天井に抜ける空気の流れる場合
- ③ 本体上部からキャビネット背面を通過して排気システムにつなげる場合

## コンセントの位置

■トールユニットの場合  
(アイレベル収納)

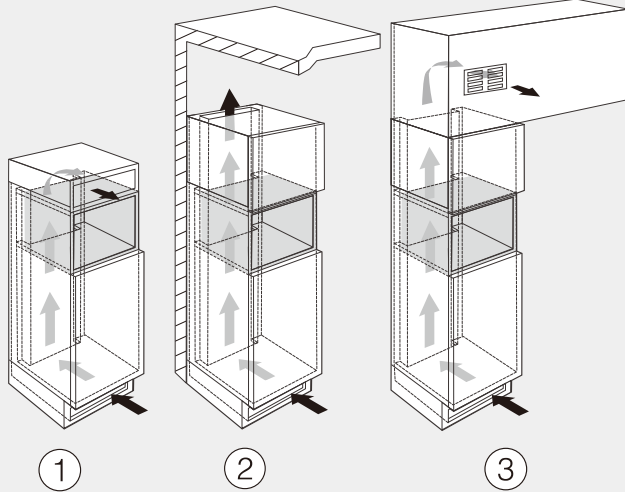
※ 電源コンセントは、ユニットの外、または、キャビネット内の手の届く場所に設けてください。



- 電源コードがよじれたり、負担がかからないようにコンセントの向きに注意してください。
- コンセントは必ず手の届くところに配置してください。機器の背面には配置しないでください。

## 2 収納キャビネットの加工

本製品は、収納キャビネットに組み込んで使用の、組込形エスプレッソマシンです。



いずれの場合のキャビネット底部から給気して、本体背面を通る排気経路を確保して下さい。

※機器内の湿気を減らし、結露を防ぐ為に排気経路を設けて下さい。

- ① 本体上部にギャラリーを設け、キャビネット全部に抜ける空気の流れをつくる場合
- ② 本体上部からキャビネット背面を通過して天井に抜ける空気の流れをつくる場合
- ③ 本体上部からキャビネット背面を通過して排気システムにつなげる場合

(注) 40×500mmの開口を取り、キャビネット上部より熱を逃がすためのすき間を確保してください。

(注) エスプレッソマシン背面には背板を取り付けしないでください。

(注) ツラ合わせのため、高さの開口寸法がアンダーカウンター／ウォールユニット(吊戸)仕様より10mm以上大きくなります。

≥200cm<sup>2</sup>

500

40

### ■電源コンセント

機器の上下いずれかのキャビネット内に設置します。

※エスプレッソマシンの下にオープンを設置する場合は、電源は最上部のキャビネット内に設けてください。

450<sup>+2</sup>

≥500

560<sup>+8</sup>

20

455,5

595

## 2 収納キャビネットの加工

### エスプレッソマシンの下部にビルトインウォーマーを設置する場合

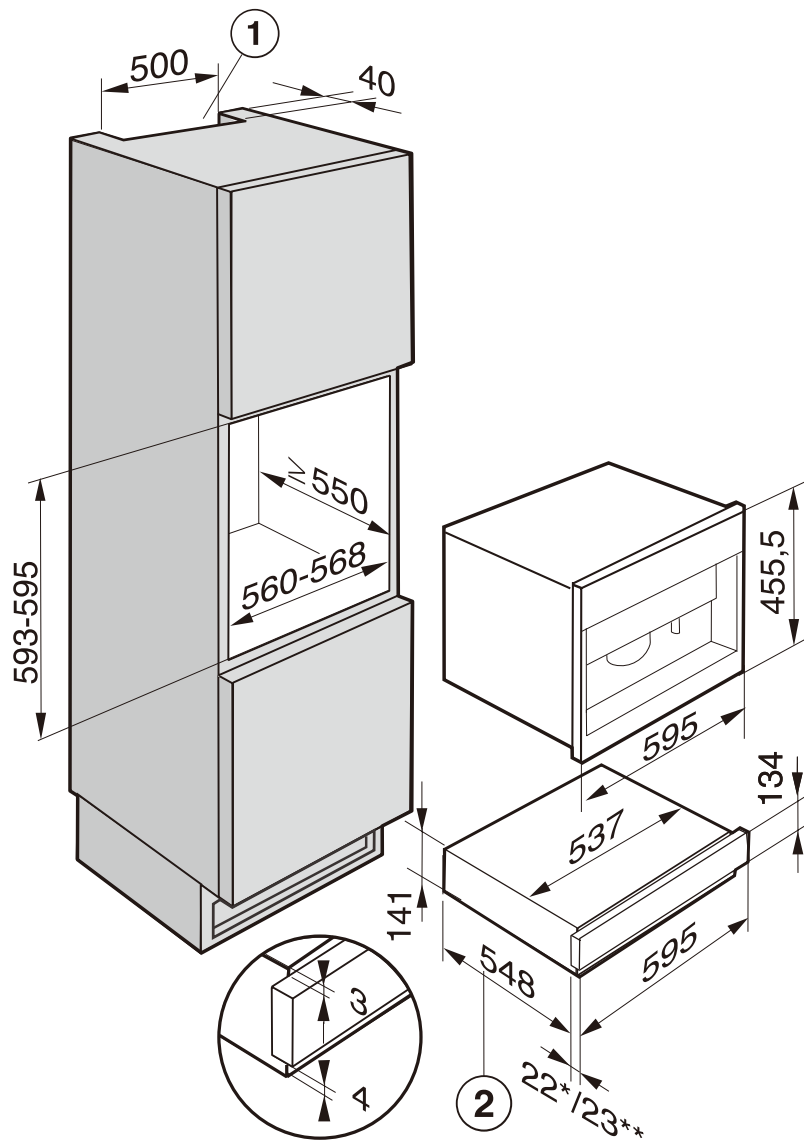
#### ■ トールユニットへの設置(ビルトインウォーマー併設)

エスプレッソマシン下部にビルトインウォーマーを設置する場合は、以下の寸法でキャビネットを開口してください。また、オープンについても、キャビネット底板を同寸法で開口し、電源ケーブル及び放熱のための空気の流れを確保してください。

※ 機器内の湿気を減らし、結露を防ぐ為に排気経路を設けて下さい。

※ ビルトインウォーマーについての詳細は、ビルトインウォーマーの設置手順書をご覧ください。

※ 操作パネル前面の上部空間は、パネルの出し入れの際にキャビネットの引き出しハンドル等にぶつからないよう、空間を考慮してください。



① スチームオープン XL 設置時に必要な排気口

② 電源ケーブル接続を含むビルトイン寸法

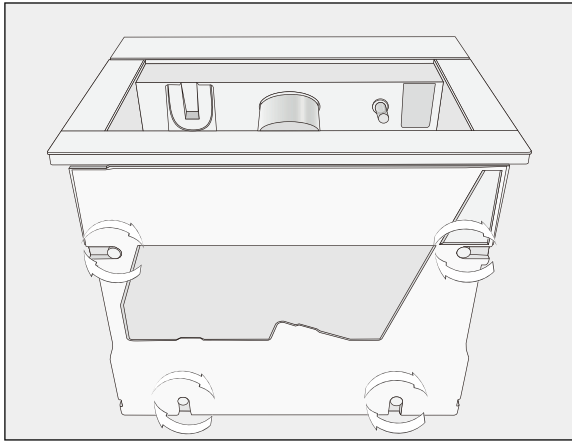
\* 前面ガラスの製品

\*\* 前面金属の製品

# 3 本体の固定

## 本体の組み込み作業

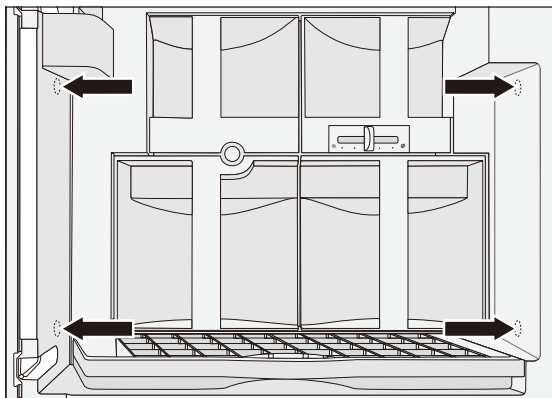
### ■床面との高さ調整



- 本体をキャビネットに押し込み、水平を確認してください。  
もし水平でない場合、本体裏面の脚を、アーレンキー（六角レンチ）を使って高さを調節してください。（～+10mm）
- 設置の際、以下を守ってください。
  - ・ 水平で安定した場所に設置してください。
  - ・ 耐久性などの点から、できるだけ湿気の少ないところを選んでください。
  - ・ 十分換気のできる場所に設置してください。
  - ・ 器具の周りや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など燃えやすい物は置かないようにしてください。
  - ・ 本体をタイルやモルタルで塗り込まないようにしてください。

### ■本体の固定

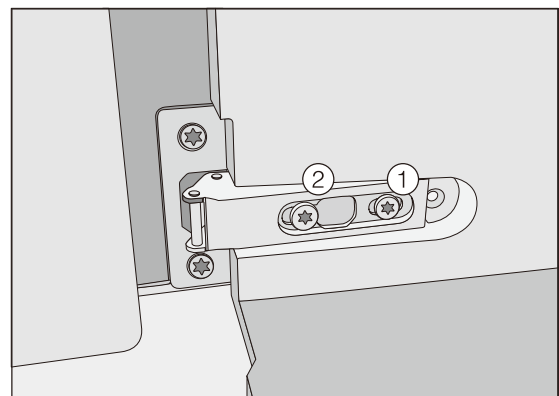
本体の前面を開くと、図の位置に4箇所の六角穴のネジ（M5）があります。このネジを締めたり微調整することでキャビネットにしっかりと固定することができます。



- 機器の前面ドアを開き、4箇所の六角穴付きネジをそれぞれ適宜締めて調整します。
- 下段のネジを回して、機器をキャビネットの中心に合わせて位置調整します。
- 上段のネジも同様に、手で回して、機器をキャビネットにしっかりと固定します。  
上下どちらのネジも締めすぎないようにして下さい。

### ■本体ドアヒンジの調整

本体ドアが開閉しにくくなった場合、ヒンジの調整をすることができます。  
（トルクスドライバーT-20をご用意下さい）



- ①のネジを締めることで、キャビネットの前面に面イチの方向に調整できます。
- ②のネジを締めることで、上下方向に調整できます。

**!** 設置後 必ず取扱説明書に従って試運転を行ってください。

# Miele



設置後、必ず試運転を行ってください。

## ミーレ・ジャパン株式会社

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12オリックス目黒ビル4階  
電話(03)5740-0030 FAX(03)5740-0035

商品の詳細・ご購入は、ミーレオンラインページ

<http://store.miele.co.jp/>

またはミーレ・コンタクトセンター(通話無料)までお問い合わせください。

ミーレ・コンタクトセンター  **0120-310-647**

 **0570-096-300**

ナビダイヤル: PHS, 携帯電話(有料)

■受付時間 月～金 9:00～17:30(土日・祝祭日休業)